

西大和つうしん

2012年 4月号

No.358



播磨アルプス (3・11)

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第358号(2012年4月号)

【目次】

山行計画	-----	1
4月度・5月度カレンダー	-----	2
自主山行《2月25-26日》南八ヶ岳 硫黄岳・赤岳(藤本)	-----	3・4
自主山行《2月26日》金剛山地 葛城山(島崎)	-----	5
例会山行《3月11日》播磨の山 播磨アルプス(内田)	-----	6
例会山行《3月18日》湖北の山 伊吹山(今井)	-----	7・8
室内例会だより	-----	9

4 月 度 山 行 計 画

～うららかな春に播磨の岩峰～

4月8日(日) 例会山行 播州の山《雪彦山》(L:辻)

【集合】上牧役場駐車場 6:30発

【コース】雪彦山キャンプ場登山口～展望岩～出雲岩～大天井岳～
雪彦山～鉾立山～虹が滝～登山口 [歩行時間:4時間15分]

【帰宅予定】上牧町役場駐車場 17:30

～パノラマが広がる縦走コース～

4月15日(日) 公開山行 北摂の山《中山連山》(L:田中悦)

【集合】阪急・山本駅 北出口 9:20

【交通】JR 王寺(7:57)⇒大阪(8:33)/阪急梅田(8:50)⇒阪急山本駅(9:16)

【コース】阪急山本駅～最明寺の滝～岩場～中山最高峰～天宮塚～
夫婦岩の分岐～中山寺～阪急中山寺

《歩程:10km/約5時間(休憩含む)》 ※ 降水確率50%で中止

～ヒカゲツツジが咲く丹波の山です。例年はこの時期見頃ですが、今年はどうでしょう？～

4月22日(日) 例会山行 丹波の山《向山》(L:内田)

【集合】JR王寺駅 7:04発(大阪行・快速に乗車)

(最終・JR 福知山線 石生駅 10:00)

【コース】水分れ公園(10:10)～観音堂登山口(10:20)～向山
(12:20/12:50)～清水山(14:20)～鳳翔寺登山口(15:30)

※ 近鉄乗車の方は、JR 大阪駅、福知山線・篠山口行き・7:55→9:17 篠山口
9:27→石生 9:56 に合流下さい。

西大和山の会 カレンダー

4 月		5 月			
1	日	近畿ブロック搬出講習会	1	火	
2	月		2	水	
3	火		3	木	
4	水		4	金	
5	木		5	土	
6	金		6	日	
7	土		7	月	
8	日	例会山行 雪彦山 (辻)	8	火	
9	月		9	水	
10	火		10	木	
11	水		11	金	
12	木		12	土	
13	金		13	日	ハイカーのための搬出訓練(杉川)
14	土		14	月	
15	日	公開山行 中山連山 (田中悦)	15	火	
16	月		16	水	
17	火		17	木	
18	水		18	金	
19	木		19	土	
20	金		20	日	例会山行 那岐山 (田中初)
21	土		21	月	記念山行 濟州島ハンナ山 韓国(島崎)
22	日	例会山行 向山 (内田)	22	火	
23	月		23	水	
24	火		24	木	
25	水	室内例会	25	金	
26	木		26	土	
27	金		27	日	クリーンハイク 金剛山 (林)
28	土		28	月	
29	日		29	火	
30	月		30	水	室内例会
			31	木	

自主山行(ハイキングリーダー学校卒業生対象)
南八ヶ岳 **《硫黄岳・赤岳》**

【日 程】 2月24日(金)夜発、25日(土)～26日(日)

【参加者】 勝尾・藤井・藤本、他の会より:中武(C.L., 奈良労山・県連教育部担当理事)・井上(奈良労山)の計5名

【コースタイム】

《2月25日》 美濃戸口(7:30)～赤岳山荘(8:30/40)～堰堤広場(9:30/40)～赤岳鉱泉(11:00/12:00)～赤岩ノ頭(14:25/30)～標高約2,685m 地点(アイゼン装着)(14:50/15:17)～赤岳鉱泉(16:25)(小屋泊)
《2月26日》 赤岳鉱泉(7:12)～中山乗越(7:47/52)～行者小屋(7:59)～文三郎尾根・中岳道分岐(アイゼン装着)(8:12/34)～標高約2,580m 地点(9:05/39)～文三郎尾根・中岳道分岐(アイゼン取り外し・ティータイム)(10:15/11:24)～行者小屋(11:30/50)～(この間トレースのない沢筋にてラッセル訓練)～美濃戸山荘(15:27/38)～美濃戸口(16:23)

2011年度ハイキングリーダー学校コーチ中武氏の引率にて実現した厳冬期の南八ヶ岳山行。大きな期待と同じだけの大きな不安を抱いて参加した我々を待っていたのは、やはり名だたる山々の厳しさと美しさだった。

前夜に車で奈良を立ち、翌朝4時ごろ美濃戸口に到着。道中ずっと降っていた雨は駐車場の少し手前で雪に変わった。しばし仮眠ののち7時半に新雪の中を赤岳鉱泉へ出発、途中二度の休憩で鉱泉の小屋に着く。この土日は「アイスクライミング・フェスティバル」が開催されるということで、小屋は若い人で満員だ。しばらく休憩してからいよいよ今日の目的地硫黄岳へ向けて出発する。不要な荷物は宿においてリュックは軽くなっているはずなのに、前夜の寝不足もあってか思いのほか疲労感がつくる。そんなこともあって実際よりも長く感じた樹林帯の道のりからようやく抜け出ると、にわかには開けた雪の急斜面をよじ登り赤岩の頭に飛び出す。すでに二時半、本来なら下山を開始していなければいけない時刻だ。硫黄岳へ向かう広い尾根筋はトレースも散らばってルートが分かりにくく、コンパスで確認しながら進む。おりからガスも濃くなり、やがて完全なホワイトアウト。凍りついた岩交じりの斜面をしばらくは手探りで進むも、結局は撤退を決断をせねばならなかった。下りはメンバーの間でも技術の差が歴然として、私などは深雪の中でもがき苦しんでいるうちに、完全に置いてきぼり。疲労困憊して宿にたどり着いたこの身に、質・量ともに申し分のない夕食の有難かったこと！食後は花火など「フェスティバル」のイベント

を見物しながら熱いワインをいただき、部屋の寢床へ戻ってからはささやかな酒宴の語らいに時を忘れる…。

二日目の朝食も旺盛な食欲を十分すぎるほど満足させたのち、7時過ぎに出発。小屋の前こそ喧騒もあったが、すこし進めばもうそこはただただ静寂の世界。曇天の下、白と黒のモノトーンのなかに雪を踏む靴音だけが響く。中山乗越の手前で大同心・小同心の全容が眺められるようになるころ、北の空がすこし明るくなって、昨日登頂かなわなかった硫黄の頂上がはっきりと見えてきた。今日なら上まで行けていただろう。実際、今日もう一度硫黄岳にチャレンジするという選択肢も中武氏から示されていたのだが、昨日のあのしんどさはばかりが記憶にあるメンバーの容れるところとはならなかったのである。さて、ここから少し下れば行者小屋。ほとんど軒まで雪に埋もれた小屋は閉ざされていたが、周囲には若い人のテントがいく張りも並んでいた。当初の話では確か、「このあたりでゆっくりお茶でもしてから戻りましょう」ということだったはずだが、実際は小屋は通過。しばらく進んで中岳道と文三郎道との分岐で「アイゼンをつけてください」との指示。「やっぱり行くんだ！」— ここまで来て赤岳へ向かわなんてことはあり得ない…それはもちろんそうなのだろうけど…でも僕が赤岳なんて行けるわけないだろう？…— 文三郎道は次第に斜度を上げ、壁のような斜面を一步、また一步と重い体躯を持ち上げて行く。夏道の鎖場のあたりを後ろを見ないようにしてようやく攀じ登ったあたり、ふとあげた目の前に見事なパノラマが広がる：北の硫黄から大同心・小同心、続いて岩場が怖いと聞く横岳、そしてさすが大きな赤岳、さらに中岳から阿弥陀岳。しかし正直なところ私にはこの素晴らしい展望を楽しむ余裕など全くなかった。だって、今登ってきたあの道を降りられるのか？その不安が私の頭をいっぱいにしていたから。そこへ、中武氏の「先へ進みますか？」との問い。私は弱音を吐くのを我慢したけれど、私の顔がはっきり内心を暴露していたのだろう、他のメンバーは皆「ここまでで充分」と答えていた。

中岳道との分岐まで戻り、アイゼンをとってからゆっくりとティータイム。「嗜好品」とは？行動食と非常食について等々。有意義な話をいくつもうかがう。帰りは行者小屋から南沢ルート。途中、トレースのない沢筋にてラッセルの訓練。また、ふたたび南沢ルートに戻ってからは、一部凍結した岩の多い急坂をアイゼンなしで下るのに四苦八苦するなど、「訓練山行」としてまこと充実したメニューをこなしたのち無事下山した。途中撤退後のこれらいくつものアルバイトに私は残ったエネルギー全てをつぎ込んだ。でも実のところそれは、「撤退」の遣る瀬無い悔しさをぶつけていただけなのだ。—

どうしたらあの先に行けるのだろうか？？？

(記:藤本)

自主山行
金剛山地 《葛城山》

【日 程】 2012年2月26日・天気 曇り

【参加者】 L 島崎・SL辻・内田・杉村・杉川・高田・亀高・鍛冶

【コースタイム】 上牧P場(8:30)～ロープウェイ駅前P場(9:00-13)～
周遊分岐(10:229～ダイトレ分岐(10:459～キャンプ場(11:15-50)
～葛城山山頂 959,2M(12:00)～周遊(2:25)～クジラの滝(13:40)
～ロープウェイ駅前P場(14:00)～上牧P場(14:45) 歩数11266

概略

今回は新人さん3名(高田・亀高・鍛冶さん)対象と思い、久しぶりに葛城山での山行を計画する。

ロープウェイ駅前P場に駐車@1000、北尾根コースは初めて、眺めが良い、沢山の保育園児が登っていた、Kさんは登り始めが、急登であった為か、しんどそうである、昨夜あまり睡眠を取っていなかった為か??周遊コースの分岐で園児達と別れ、我々はダイトレコースへ、自然林の中、気分良く登る事が出来る。

ダイトレ分岐では樹氷がうっすらと見られる、木の階段を長々と登って行き、ピークを過ぎて、キャンプ場に出て、そこで昼食を取る、風は無いが、底冷えがする。

広々とした山頂へ行くと、だれもいない、雪は無いが、周りの木々の樹氷がきれいである、360度の展望を眺め、つつじの周遊コースを回って、帰路は自然林の中を気分よく下る、日陰の処が凍っており、注意をしながら下る、道は歩き易い、樹林帯の中を歩き、クジラの滝で一休み、靴を洗って下山すると、間もなくロープウェイ駅前P場に無事到着。

新人さん3名の脚力はほぼ分かったかな? (報告者 島崎 隆)

例会山行
播磨の山 《播磨アルプス全山縦走》

【日 程】 2012年3月11日(日) 《晴れときどき小雨》

【参加者】 L内田 (参加人数15名)

【コースタイム】 豆崎登山口(10:05)～豆崎奥山(10:20)～百間岩(11:20)
～昼食(11:50/12:20)～高御位山(13:30/13:40)～小高御位山
(14:10)～登山口(14:45)

王寺から、2 時間ほどで行ける地の利の山。しかも青春切符なら多分車より安く行ける、そうい企画しました。以前は今回の半分ぐらいしか山の中を歩いていないので今度は全山縦走をやってみたかった。

駅から、10 分ほどで登山口、気をつけなければ見過ごしてしまう、住宅の横のありました。そしていきなりの、急勾配の一枚岩、そこをよじのぼり、さあアルプス縦走のはじまりです、(本当のアルプスの岩場縦走の方には鼻で笑われそう?) 300mちょいの山とは思えないほど変化にとんだアップダウンの繰り返しの岩尾根の縦走です。下では、高校があり子供たちの声が聞こえます。なんだか不思議な気持ち、いくつかアップダウンの後、落差100mの名物の百間岩も、はいつくばって登りました。本当に以前ここを登ったのかという思いがありました、どうやら間違いなく上ったようでした、ただついていくだけの山行をしていた時はここを登ったことさえ記憶になかったのです。

昨年1月の、山火事による木々の焼け跡が痛々しく岩山だからでしょうか？草さえも生えていません。普通は山火事後、間髪を入れず植物は芽を出してほどなく緑の草原に変わるはずですが…この日のメインの高御位山ははるか遠くに見えています。鷹巣山の双耳峰が目の前にそびえたところで昼食タイム

それから約 1 時間で高御位山、下を見たら目もくらむ大岩の上で記念写真、大勢の若者たちでにぎわっていました。大峰の山では考えられないくらいの山ガール山ボーイたち、

下りもまた、急な岩場をくだっていきます。そして小高御位山から少し先で、下山しました。

この低さ、では考えられない岩尾根のアップダウンの縦走、もう一度ここに来れたことに感謝、それにおつきあいくださった会員の皆さんありがとうございました。
(記:内田)

例会山行
湖北の山 《伊吹山》

【日 程】 2012年3月18日(日)

【参加者】 CL 藤本

《A班》SL三島・今井・勝尾・杉村・高田・田中悦・辻・的場

《B班》SL島崎・亀高・阪口・杉川・玉越・林・藤井

【コースタイム】 登山口駐車場(9:10)～2合目(9:40)～3合目(10:34)～
4合目(10:50)～5合目(11:02)～6合目(11:17)～山頂(12:40/13:15)
～6合目(13:45)～5合目(14:00)～4合目(14:16)～3合目(14:23)～
1合目(14:50)～登山口駐車場(15:43)

お天気を心配した今日の山行でしたが、曇り空の中参加者16名の大パーティ。AB班に別れ登山口を予定時間より10分遅れで出発。

登り始めてすぐから雪解けでぬかるみ、油断の出来ない悪路。アツと言う間に私の靴とスパッツと靴は泥だらけに！前後の人を見ると汚れてる人、綺麗な人と色々、歩き方で大きな違いがありました。3合目を過ぎ4合目あたりまで来たら雪道になり泥だらけの足元も綺麗になりました。

6合目の避難小屋でアイゼン装着、ここから急登。初めての経験です。今日はピッケル持参の方が半数近く在り、ピッケルで滑落を止める方法等、話題に上る。私はまだ、ピッケルを触った事さえ有りません。この斜面、何度有るのかなあ～なんて思いながら慎重に慎重にトレースをたどりながら一歩一歩高度を上げて行きます。

相変わらずのガスの中、ちょっと振り返ると右手前方に琵琶湖の海面が青く輝いて見えたがそれも一瞬でガスに覆われてしまいました。山頂も中々、拝む事が出来ません。

後ろのTさんが高度1175m、1200mと声を掛けて下さり1,377mだからもう少しだと話ながら顔を上げると転げ落ちて来る人が！先ほどの話題の事も有り、練習？と思いながら見てると止めようとされた方まで一緒に落ちられ、練習で無い事がわかる。

私達より上の方で止まる事が出来、幸い、どなたも怪我も無いようでしたが、目の前にした滑落はショックでした。止められた方の勇気に拍手！女性でしたよっ滑落された方も女性で4本爪のアイゼンだったようですが、いつ我が身に起きるかわかりません。

途中一瞬だけ山頂も見えましたが、中々全貌を見る事が出来ませんでした。ひたすら足元に集中して急登もやっと終わり山頂へ。山頂の避難小屋も満員らしく外の小屋脇で昼食を摂る事に！山頂は寒い！！慌ててダウンを着込み、昼食と記念撮影を終え、早々に下山。

さっき見た滑落が脳裏に焼きついていて、雪の急斜面が怖い！躓かないように気をつけてこわごわ降りる。6合目迄降りてちょっと安心。

3合目過ぎでアイゼンをはずし2合目からは舗装された林道を降りて予定時間に登山口へ。登山口駐車場に着く頃雨が降り始め、駐車場を出る頃にはほんぶりに！今日の雪質は登り易かったと先輩の感想を聞いて今日で良かった！

雪の伊吹山を体験させて頂き、このチャンスを下さった事に感謝します。皆様、ありがとうございました。お世話になりました。（記:今井）



室内例会だより

【日 時】2012年2月29日(水) 19:30~20:30 事務所

【出席者】島崎、田中悦、田中初、林、辻、都築、三島、藤本、村田、
勝尾、杉村、内田、玉越、的場、杉川、阪口、今井、橋本、
高田、藤井 (20名)

1、山行報告

1月22日(日) 例会山行 比良山系 堂満岳 L三島 8名
1月29日(日) 平日山行 大峰 観音峰 L島崎 12名
1月31日(火) 平日山行 淡路島 論鶴羽山 L辻 6名
2月5日(日) ハイキングリーダー学校
大峰ワサビ谷~地獄谷シェイクスピア氷瀑群 2名(他3名)
2月5日(日) 例会山行 六甲氷瀑 L田中悦 12名
2月12日(日) 例会山行 台高 三峰山 L林 12名

2、山行案内

3月11日(日) 例会山行 播磨アルプス L内田
3月18日(日) 例会山行 伊吹山 L藤本
3月24日(土) 女性部山行 京都北山 品谷山 L勝尾

3、連絡その他

- ・ 3月4日(日) 13:00~
県連総会 生駒図書館 島崎、林出席
- ・ 労山荣誉功劳賞表彰
多賀、石田、藤井の3名が賞状と記念バッジを授与されました。
- ・ 2月4日 テーピング講習会に林、今井、橋本の3名が参加しました。
- ・ 30周年記念海外登山
5月19日~22日 韓国 濟州島ハルナ山、オルレハイキング
西大和単独でツアーを組んでもらえます。参加者を募っています。
- ・ 3月25日(日) 事務所
定期総会 13:30~15:30
室内例会 15:40~17:30
18:00より打ち上げを行ないます。
新旧役員は13:00に集まってください。
- ・ 3月9日(金) 19:00~事務所 新旧役員会 総会資料作成
- ・ 高田純子さん(上牧町) 亀高茂さん(上牧町)が入会されました。